

新米です。お召し上がりください。

能登 いまい農場だより 10月号

お買い上げいただきありがとうございます。

7月中旬から8月中旬にかけ、すごい猛暑だったので、そのあげくがあるとは思っていたのですが、なぜこの時期？と思わせる、刈り取り期間中2・3日おきに降る雨でした。例年より1週間早く、刈り取りが始まったのですが、終わるのは例年とおなじ感じです。あとカグラモチ2枚を残すのみになりました。

それにしても、今年は、災害があちこちで起こっています。地震に大雨・台風被害、何十年に1回と言われる災害が頻繁に発生し、今度は自分のところかもと、思ってしまう。

皆様、いかがお過ごしですか

■8月末の豪雨のつめあと

猛暑から一転して大雨に見舞われた能登、いまでも、集落の住宅街の一角に土嚢が置かれたままになっています。そろそろ片付けたいと思っていたやさき、区長である私に電話があり、ちょっと見て欲しいと言われ駆けつけると、山近くの水路のU字溝が土砂で埋まり、畑の真ん中が川になっていました。当然土砂も畑に流れ込んで堆積しています。大雨の当日、その付近も見回っていたのですが、その場所は気がつきませんでした。1月以上も経ってから連絡があり、驚きました。

田んぼの排水路の一部にも、大雨で山からの砂が堆積し、コンクリートの護岸まで埋まっているため、重機で撤去するのは刈り取りが済んだこれからになります。

■生きものたちと共生した米づくり

今年は、早生種の「能登ひかり」と晩生種の「ひやくまん穀」も特別栽培米として栽培しました。特別栽培米とは化学合成農薬と化学肥料をその地域の一般栽培より50%以上削減した栽培法を言うのですが、当農場では有機率100%で栽培しています。農薬は除草剤で初期1発剤2成分入りのみを使用しました。



どちらも大粒の品種です。「ひやくまん穀」は石川県が開発した新品種で、冷めてもおいしく、たべごたえのある品種というキャッチフレーズで売り出し中です。ちなみに、新潟県の「新之助」や富山県の「富富富」・福井県の「いちほまれ」も新品種で売り出し中で、各県の競争がはげしくなっています。試食した人によると、どれも似たり寄ったりという声もあるのですが。

「平右エ門有機栽培米こしひかり」「平右エ門特別栽培米こしひかり」とも、こだわり抜いて栽培しました。

お陰様で、阪神百貨店では20年以上も置いて頂いているのですが、東京では、三越日本橋本店でも常時売っていただいています。